

学校支援会報

■平成25年1月11日発行 第9号 ■編集 一関市学校支援実行委員会事務局（一関市立室根公民館内 TEL:0191-64-2347）

新年迎え 伝統行事たのしむ

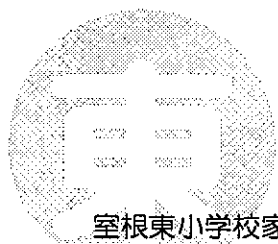
室根地域で実施している一関市学校支援事業は、地域の皆様のご協力とご支援をいただきながら、平成25年の年が明け5年目を迎えました。



まゆ玉を作る子供たち

1月5日には、室根公民館で子ども土曜塾事業「小正月行事」が開催され、餅つきやまゆ玉ならし、昔遊びなどが行われました。室根東小学校と室根西小学校の児童を中心に、市内から15人が参加。地域に伝わる伝統行事を体験しました。

前日の準備から、放課後子ども教室学習アドバイザーの岩淵恵美さんと折壁放課後児童クラブ生活指導員の鈴木光枝さん、学校支援事業地域コーディネーターの小松、加藤がお手伝いし、雑煮など5種類の餅料理などを準備。子どもたちと一緒に楽しみました。これからも地域と学校がより良い連携を図れるよう、私たち地域コーディネーターが取り組んで参りますので、本年も皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



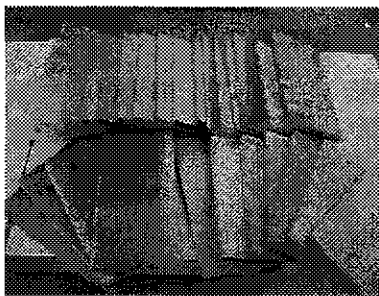
まな板 ☆ピッカピカ☆

室根東小学校家庭科教室のまな板をボランティアの西村清勝さんに削っていただきました。

まな板は、室根東小学校に統合される前から使用されていたもので、多くが昭和時代のもので、ほとんどが木製で傷んでいました。

11月23日、町内の建設会社にお勤めの西村さんが、寒い中、長時間にわたって作業。27枚のまな板は、全面を削った後、角の面取りを行い、反り返っているものは手作業で一枚一枚丁寧にゆがみを取って磨かれ、まるで新品同様によみがえりました。調理に不可欠な衛生的な環境が整い、子どもたちもより安心して使えるようになりました。

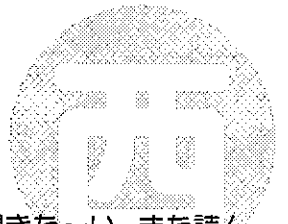
2学期には5年生が調理実習で使用し、おいしい味噌汁を作りました。3学期には、6年生がじゃがいも料理を作る予定です。



(上)きれいに生まれ変わったまな板
(右)厚みを調整しながらまな板を削る西村さん



大きな絵本で読み聞かせ



読み聞かせをする齋藤さん

室根西小
学校の多目
的ホールで
12月17日、
お昼休みを
利用して、
希望者を対
象に大型絵
本の読み聞

子どもたちからは、「もっと聞きた〜い。また読んでね!」とうれしい感想も。齋藤さんは「本を好きな子がより多くなればいいな」と笑顔で話してくれました。

3学期もボランティアの協力をいただきながら、数回の読み聞かせを行う予定です。次回は高学年にも多く聞いてもらえるよう、地域に関係する本などを探し、工夫したいと思います。



熱心に話しを聞く児童たち

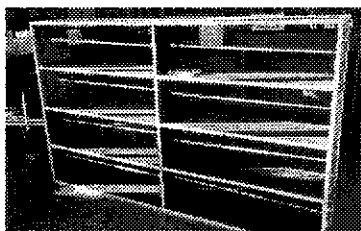
かせが行われました。

ボランティアの齋藤香織さんに読んでいただいた本は、「たまごにいちゃん」と「にんじんとごぼうとだいこん」の2冊。希望者は低学年が多いだろうと思い、可愛い本を選んでいただきました。

約30人の児童が集まり、「その本、小さい本で読んだことある」、「たまごの絵がかわいいね」などと話しながら、賑やかに楽しい読み聞かせのひとときを過ごしました。

本棚改造で収納力アップ!!

室根中学校では、図書室の限られたスペースを有効活用するため、ボランティアの加藤孝人さんにご協力いただき、職場体験の際に2年生が着色した白い本棚の背面をはずす作業をしていただきました。



おかげで両側から本の出し入れが可能になり、収納冊数を大幅に増やすことができました。

また、加藤さんの提案で、使用していなかった横長の飾り棚を、縦長の本棚に作り変えていただきました。中学校の不要木材を利用して5段の棚を付け、白いペンキを塗っていただき、見違えるような素敵な本棚に生まれ変わりました。

2台の本棚を12月10日に搬入。金具で固定し

地震対策も万全になりました。合わせてボランティアの菅原雅江さんに手伝っていただき、本の入れ替え作業も行いました。

これまで机の上に広げてあった本や、カウンターに置かれていた本は、ほぼ新しい棚に収まり、机もカウンター周りも広々と使えるようになりました。



使われていなかった飾り棚(左)が、きれいな本棚(右)に